

地域と学校がパートナーとなって子供の成長を支える

コミュニティ・スクール通信

岩手県教育委員会事務局
生涯学習文化財課 地域学校連携担当
〒020-0034 岩手県盛岡市内丸 10-1
TEL 019-629-6173
FAX 019-629-6179
E-mail DB0005@pref.iwate.jp

令和4年7月7日発行 第20号

6/28 宮古教育事務所管内 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム

今回は、コミュニティ・スクールを支える「行政」「学校」「地域学校協働活動推進員」のそれぞれの関係者による実践発表ということもあり、大変有意義なフォーラムとなりました。



元文部科学省 CS マイスター、秋田県生涯学習センター社会教育主事の皆川雅仁氏には前回に引き続き講師としてご講演をいただきました。皆川氏によると、「協働」とは、同じ目的を目指して、各々のタイミングで役割を果たしていくこととのことです。正に、今回実践発表をしてくださった3名は、立場はそれぞれ違ってもコミュニティ・スクールという一つの目的に向かい取り組んでいる方々です。



発表者の山田町教育委員会生涯学習課社会教育係長菅野遼氏からは、活動サポーター育成講座を開設し、より多くの地域住民からの参画を得るための工夫や、定期的に学校運営協議会と地域学校協働活動本部が効果的に機能しているか振り返る必要性について発表いただきました。

岩泉町立小本中学校校長の古里康彦氏からは、生徒、保護者、教職員、地域の方々にコミュニティ・スクールの良さ広げるための工夫や、持続可能な体制づくりについて発表していただきました。

宮古市立山口小学校地域学校協働本部地域学校協働推進員の佐々木良恵氏からは、地域コーディネーターの仕事の内容や地域コーディネーターを採用するポイントについて長年の経験から培った内容について実践発表をしていただきました。

特別支援学校でコミュニティ・スクールを導入するときの参考資料として、秋田県生涯学習センターで実施した調査（「障害者の生涯学習」に関するニーズ調査）を皆川氏より紹介していただきました。生徒に目を向けたコミュニティ・スクールの導入の一助として是非参考にさせていただきたいと思います。 [「障害者の生涯学習」に関するニーズ調査 | 美の国あきたネット \(akita.lg.jp\)](https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/47810)

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/47810>

本通信は下記ホームページに掲載しています。（※ダウンロード可能）

岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>



「まなびネットいわて」には、文部科学省が作成したパンフレットや全国の事例紹介があります。また、岩手県が作成した資料や県内の事例等の紹介もあります。ぜひ、ご覧ください。